

選挙タイムでおしゃべり 夫婦別姓にすると子どもの名字は?

新婦人しんぶんの「選挙クイズ」を読んでおしゃべりする
選挙タイムが各地でひろがっています。



首都圏のある職場班では、昼休みの班会で「なんでも採決された新婦人しんぶんの「選挙クイズ」でおしゃべり。28年ぶりに国会で審議入りした選択的夫婦別姓法案について、

「家族の一体感が壊れる」が反対理由!

「選択的夫婦別姓、国会でなんでも通らなかつたの?」「家族の一体感が壊れる」と反対している自民党や維新、参政党がいるからみたい」「はあ?」「でも、どうしてそう思うのかな?」と疑問が出されました。

「うちの家族は別姓」というAさん。「子どもと私の姓は違うけど、仲はいいし。別姓で家族の一体感が壊れる」という根拠はどこにあるのかと思うと。続いてBさんが「私の兄は夫婦別姓の実現を待って、いま

「家族の一体感が壊れる」という根拠はどこにあるのかと思うと。続いてBさんが「私の兄は夫婦別姓の実現を待って、いま

「家族の一体感が壊れる」という根拠はどこにあるのかと思うと。続いてBさんが「私の兄は夫婦別姓の実現を待って、いま

「家族の一体感が壊れる」という根拠はどこにあるのかと思うと。続いてBさんが「私の兄は夫婦別姓の実現を待って、いま

「家族の一体感が壊れる」という根拠はどこにあるのかと思うと。続いてBさんが「私の兄は夫婦別姓の実現を待って、いま

「家族の一体感が壊れる」という根拠はどこにあるのかと思うと。続いてBさんが「私の兄は夫婦別姓の実現を待って、いま

「家族の一体感が壊れる」という根拠はどこにあるのかと思うと。続いてBさんが「私の兄は夫婦別姓の実現を待って、いま

「家族の一体感が壊れる」という根拠はどこにあるのかと思うと。続いてBさんが「私の兄は夫婦別姓の実現を待って、いま

は事実婚を選んでいい。子どもたちは兄のパートナーの名字になつていくけど、家族は仲良いよ。私も姪と甥と話すし、何の問題もない」と。別姓の当事者の発言で、「一体感が壊れる」は事実ではないんだね」とみんな。さらに「どの段階で子どもの姓を決めるのが正解なのかな? 子どもが生まれたとき? 婚姻時? どう考える?」と、別姓は賛成だけど、「子どもの姓についてははひっかかる」と白熱討論がスタート!

「私は今年から旧姓に戻した」とDさん。「子どもたち(17歳/15歳)に、『母は旧姓にする』と言ったら、『自由にならなくて。母が名字を変えたからって私たちの暮らしは何も変わらないでしょ?』とあつさり(笑)。『あなたたちはどうしたい?』と聞いたら、『私たちはそのままいっく。いいでしょう?』と。いままで生きてきた名前が本人固有のものなんだと改めて思った。他にも「子どもの名字は、子どもが18歳になつたら、両親の名字のどちらかを選んで変えていいと思う」との意見や、「選択的夫婦別姓法案は、子どもの姓を、立憲案は婚姻時に決める、国民案は筆頭者の姓にする」として、違ふ法案だけどもほぼ同じ内容。現行でも家裁で申請すれば変えられる。制度実現を遅らせる理由にはならないはず」と国会審議を振り返る発言も。

「私は今年から旧姓に戻した」とDさん。「子どもたち(17歳/15歳)に、『母は旧姓にする』と言ったら、『自由にならなくて。母が名字を変えたからって私たちの暮らしは何も変わらないでしょ?』とあつさり(笑)。『あなたたちはどうしたい?』と聞いたら、『私たちはそのままいっく。いいでしょう?』と。いままで生きてきた名前が本人固有のものなんだと改めて思った。他にも「子どもの名字は、子どもが18歳になつたら、両親の名字のどちらかを選んで変えていいと思う」との意見や、「選択的夫婦別姓法案は、子どもの姓を、立憲案は婚姻時に決める、国民案は筆頭者の姓にする」として、違ふ法案だけどもほぼ同じ内容。現行でも家裁で申請すれば変えられる。制度実現を遅らせる理由にはならないはず」と国会審議を振り返る発言も。

「私は今年から旧姓に戻した」とDさん。「子どもたち(17歳/15歳)に、『母は旧姓にする』と言ったら、『自由にならなくて。母が名字を変えたからって私たちの暮らしは何も変わらないでしょ?』とあつさり(笑)。『あなたたちはどうしたい?』と聞いたら、『私たちはそのままいっく。いいでしょう?』と。いままで生きてきた名前が本人固有のものなんだと改めて思った。他にも「子どもの名字は、子どもが18歳になつたら、両親の名字のどちらかを選んで変えていいと思う」との意見や、「選択的夫婦別姓法案は、子どもの姓を、立憲案は婚姻時に決める、国民案は筆頭者の姓にする」として、違ふ法案だけどもほぼ同じ内容。現行でも家裁で申請すれば変えられる。制度実現を遅らせる理由にはならないはず」と国会審議を振り返る発言も。

「私は今年から旧姓に戻した」とDさん。「子どもたち(17歳/15歳)に、『母は旧姓にする』と言ったら、『自由にならなくて。母が名字を変えたからって私たちの暮らしは何も変わらないでしょ?』とあつさり(笑)。『あなたたちはどうしたい?』と聞いたら、『私たちはそのままいっく。いいでしょう?』と。いままで生きてきた名前が本人固有のものなんだと改めて思った。他にも「子どもの名字は、子どもが18歳になつたら、両親の名字のどちらかを選んで変えていいと思う」との意見や、「選択的夫婦別姓法案は、子どもの姓を、立憲案は婚姻時に決める、国民案は筆頭者の姓にする」として、違ふ法案だけどもほぼ同じ内容。現行でも家裁で申請すれば変えられる。制度実現を遅らせる理由にはならないはず」と国会審議を振り返る発言も。

「私は今年から旧姓に戻した」とDさん。「子どもたち(17歳/15歳)に、『母は旧姓にする』と言ったら、『自由にならなくて。母が名字を変えたからって私たちの暮らしは何も変わらないでしょ?』とあつさり(笑)。『あなたたちはどうしたい?』と聞いたら、『私たちはそのままいっく。いいでしょう?』と。いままで生きてきた名前が本人固有のものなんだと改めて思った。他にも「子どもの名字は、子どもが18歳になつたら、両親の名字のどちらかを選んで変えていいと思う」との意見や、「選択的夫婦別姓法案は、子どもの姓を、立憲案は婚姻時に決める、国民案は筆頭者の姓にする」として、違ふ法案だけどもほぼ同じ内容。現行でも家裁で申請すれば変えられる。制度実現を遅らせる理由にはならないはず」と国会審議を振り返る発言も。

「私は今年から旧姓に戻した」とDさん。「子どもたち(17歳/15歳)に、『母は旧姓にする』と言ったら、『自由にならなくて。母が名字を変えたからって私たちの暮らしは何も変わらないでしょ?』とあつさり(笑)。『あなたたちはどうしたい?』と聞いたら、『私たちはそのままいっく。いいでしょう?』と。いままで生きてきた名前が本人固有のものなんだと改めて思った。他にも「子どもの名字は、子どもが18歳になつたら、両親の名字のどちらかを選んで変えていいと思う」との意見や、「選択的夫婦別姓法案は、子どもの姓を、立憲案は婚姻時に決める、国民案は筆頭者の姓にする」として、違ふ法案だけどもほぼ同じ内容。現行でも家裁で申請すれば変えられる。制度実現を遅らせる理由にはならないはず」と国会審議を振り返る発言も。

「私は今年から旧姓に戻した」とDさん。「子どもたち(17歳/15歳)に、『母は旧姓にする』と言ったら、『自由にならなくて。母が名字を変えたからって私たちの暮らしは何も変わらないでしょ?』とあつさり(笑)。『あなたたちはどうしたい?』と聞いたら、『私たちはそのままいっく。いいでしょう?』と。いままで生きてきた名前が本人固有のものなんだと改めて思った。他にも「子どもの名字は、子どもが18歳になつたら、両親の名字のどちらかを選んで変えていいと思う」との意見や、「選択的夫婦別姓法案は、子どもの姓を、立憲案は婚姻時に決める、国民案は筆頭者の姓にする」として、違ふ法案だけどもほぼ同じ内容。現行でも家裁で申請すれば変えられる。制度実現を遅らせる理由にはならないはず」と国会審議を振り返る発言も。

「私は今年から旧姓に戻した」とDさん。「子どもたち(17歳/15歳)に、『母は旧姓にする』と言ったら、『自由にならなくて。母が名字を変えたからって私たちの暮らしは何も変わらないでしょ?』とあつさり(笑)。『あなたたちはどうしたい?』と聞いたら、『私たちはそのままいっく。いいでしょう?』と。いままで生きてきた名前が本人固有のものなんだと改めて思った。他にも「子どもの名字は、子どもが18歳になつたら、両親の名字のどちらかを選んで変えていいと思う」との意見や、「選択的夫婦別姓法案は、子どもの姓を、立憲案は婚姻時に決める、国民案は筆頭者の姓にする」として、違ふ法案だけどもほぼ同じ内容。現行でも家裁で申請すれば変えられる。制度実現を遅らせる理由にはならないはず」と国会審議を振り返る発言も。

談話

ジェンダー平等に逆行、差別・分断は絶対に許さない

新日本婦人の会会長 米山淳子



参政党の神谷代表の発言に、怒りを込めて抗議します。「日本人ファースト」を掲げる同党が国会に議席を持ちながら、選挙で女性べつ視、ジェンダー平等敵視、差別・分断、排外主義をまき散らしていることは、絶対に許されず、放置するわけにはいきません。彼らは、少子化の原因は女性の社会進出にあるとい

い、「男女共同参画をすすめてきたのは間違い」「子どもを産めば月10万円の給付金を渡す。教育費や子ども医療費無償はムダ」「産むことが国家への貢献」など、子どもを産む女性の役割をことさらに強調しています。さらに「外国人が日本に来ると犯罪が増える」「賞金が上がらないのは外国人を入れていいから」などのデマや、差別と分断をあおる「ハイト演説」を公然と繰り返していることも大問題です。大手メディアは、フ

「家族の一体感が壊れる」が反対理由! 「選択的夫婦別姓、国会でなんでも通らなかつたの?」「家族の一体感が壊れる」と反対している自民党や維新、参政党がいるからみたい」「はあ?」「でも、どうしてそう思うのかな?」と疑問が出されました。

「家族の一体感が壊れる」という根拠はどこにあるのかと思うと。続いてBさんが「私の兄は夫婦別姓の実現を待って、いま

「家族の一体感が壊れる」という根拠はどこにあるのかと思うと。続いてBさんが「私の兄は夫婦別姓の実現を待って、いま

「家族の一体感が壊れる」という根拠はどこにあるのかと思うと。続いてBさんが「私の兄は夫婦別姓の実現を待って、いま



中央常任委員 櫻井文子 (あやこ)さん死去

新日本婦人の会中央常任委員、兵庫県本部会長の櫻井文子さんが7月2日に亡くなりました。65歳でした。櫻井さんは、加古川支部事務局長、兵庫県本部事務局長を歴任。2001年から

中央委員、15年から中央常任委員として、平和・ジェンダー平等と社会進歩、新婦人の運動と組織の発展のために尽くし、いつも班や支部に心を寄せ、情勢と会

の役割を伝えて、前向きで明るく活動の先頭に立ちました。7月4日家族葬がおこなわれ、新婦人中央本部は弔電を送りました。

神戸の叔母宅に身を寄せて



6人目が神戸市で、長崎県佐世保の南風崎に上陸しましたが、しばらくは収容所暮らし。弟は食べる物がなく、母の乳をしやぶり栄養失調で命が危ぶまれました。DDT(殺虫剤)を噴射され乗り込んだ列車で、『リンゴの唄』を覚えてくれた女性がいたことが記憶に刻まれています。広島県大崎上島の父方の叔母宅を経て、母子3人は兵庫神戸市の母方の叔母宅に身を寄せました。神戸では、食べ物がなく満員列車で買い出しに行き、野良犬のように追い払われま

ましたが、7歳の私もお米を担ぎました。その頃、女性が投票権を得た。2回目の選挙があり、母は叔母の入場券で投票に行き、たくさん女性が当選したと喜んでいました。私は1年生を半分しか登校しませんでした。2年生に編入されました。

母の歴史

聞き書き 山口県 宝迫美穂子さんのお話 (6)

1946年4月、大連南山麓小学校に入学、男女別クラスでした。ソ連軍の指示で知らない家族と一軒の家に同居させられ、2回の転居と転校も経験しました。

終戦から2回目の冬には、日本人の餓死者が多くなり、ボロ布に包んで遺体置き場に運び、野犬などが処理すると聞きました。そんな中、わが家は47年2月1日に引き揚げ船に乗り日本に向かいました。

船上で、誰かが「紀元節(明治政府が、神話をもとに、神武天皇)が即位した日としてつづった祝日)だ」とつぶやき、雪が降